

鎌倉コンサートに寄せて



皆様こんにちは。

マリンバの古徳景子でございます。

この度は、予期せぬ新型コロナウイルスの影響で、皆様とこの会場でお会いすることが叶わず、本当に残念でなりません。メッセージの形となりましたことをお許しください。

私が住んでおりますメキシコのチャパスは、グアテマラの国境にあり、まだインフルエンザの症状が出た人はいませんが、赴任先のチャパス州立芸術科学大学も休校になりました。

メキシコ国内は、このインフルエンザに対して冷静に対処しており、レストランやミュージアム、学校などが閉鎖され、市民は各家で静かに見守っている状態です。

この脅威をもたらしているインフルエンザが下火になり、世界が落ち着きます事を、願ってやみません。

さて、今日のコンサートで、マリンバの音色を、生でお伝えする事が出来ませんが、2005年8月6日、戦後60周年にTOKYO FM HALL に於いて演奏しました、私の「平和の願い」を託した自作曲、「学GAKU」の映像を見ていただきたいと思います。

共演者はスウェーデン打楽器奏者ダニエルさんとロルフさんです。

この「学」の作品につきましては、プログラムと一緒に配布しました小冊子を、読んで頂ければ幸いです。

また本日、マリンバの弾き語りを予定していましたが「あしたきらきら」も、女優・長内美耶子様の朗読に託させていただきます。

「あしたきらきら」は詩人・伊藤真理子さんが広島平和公園の大きな原爆碑のほかに、鎮魂を願って100碑近くの慰霊碑に詩をつけられました。

私は、原爆慰霊碑を周り、様々な思いを巡らせながらメロディーをつけました。

今では私のライフワークとして作曲し続けております。

ホームページに弾き語りを載せておりますので是非ご覧下さい。

「学」を弾き始めて今年で5年目になります。

今後も音楽を通してメキシコから、日本から、世界に向けて「平和のメッセージ」を発信し続けて参ります。

今日、このような場を与えてくださった関係者の方々、そして何よりもご来場の皆様に心より感謝を申し上げます。

2009年5月3日

古徳景子